

平成28年度 第3回

受注登録企業動向調査結果報告書

<概況>

全体的には、受注量は前回調査に続いて増加傾向で堅調に推移。
今後の受注見通しについても僅かながら増加の見込み。

<項目別の特徴>

- (1)受注量 : 全業種で前期より増加。金属製品、電気機器、樹脂製品で顕著。
- (2)受注見通し : 全体的にやや増加。精密機器が増加の見込み。
- (3)受注単価 : 上昇が僅かに増えているがほとんど変化がない。精密機器で2割超の企業が低下。
- (4)資金繰り : 好転が僅かに増えているがほとんど変化がない。輸送用機器で前回よりやや悪化。
- (5)採算状況 : やや改善傾向。全業種で「黒字」が「赤字」を上回る。
- (6)受注余力 : 「受注余力なし」が微増も、鉄鋼・非鉄、電気機器で7割超が「余力あり」。

(注) 本報告書で使用するDIとはディフュージョ・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加」・「好転」したなどとする企業割合から「減少」・「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値である。

調査対象期間 平成28年10月～12月
(平成28年12月末集計)

1. 調査概要

(1) 調査目的

受注登録企業における受注動向等の実態を把握することにより、受発注取引あっせん
の円滑化を図る。

(2) 調査対象企業

当財団に登録している受注企業 285社

業種別内訳（産業分類 中分類）

① 鉄鋼・非鉄関係	35社	② 金属製品関係	45社
③ 一般機器関係	45社	④ 電気機器関係	45社
⑤ 輸送用機器関係	35社	⑥ 精密機器関係	40社
⑦ 樹脂製品関係	40社		

(3) 調査時点

平成28年12月末日現在

(4) 調査方法

調査票の郵送によるアンケート方式

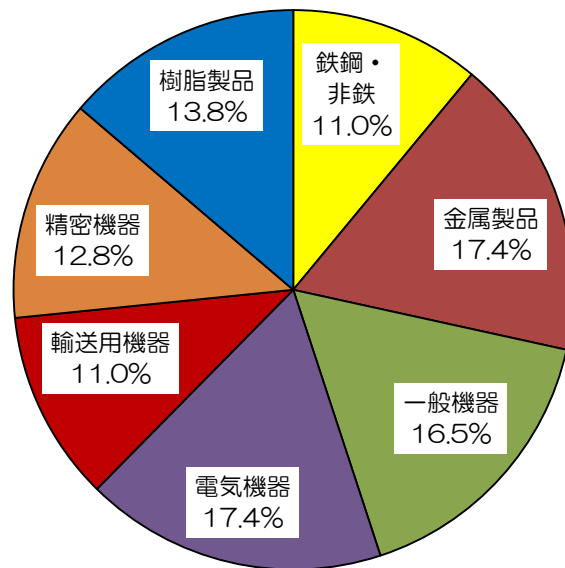
調査項目（受注量、受注量の見通し、受注単価、資金繰り、採算状況、受注余力）

(5) 回答状況

① 調査対象企業数	285社		
② 回答企業	218社		
③ 内訳			
鉄鋼・非鉄関係	24社	(11.0%)	
金属製品関係	38社	(17.4%)	
一般機器関係	36社	(16.5%)	
電気機器関係	38社	(17.4%)	
輸送用機器関係	24社	(11.0%)	
精密機器関係	28社	(12.8%)	
樹脂製品関係	30社	(13.8%)	
④ 回答率	76.5%		

2. 回答企業の概要

(1) 業種別回答企業の内訳



(2) 業種別・資本金別回答企業数

(単位：社)

	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
個人	6 2.8%	1 4.2%			2 5.3%			3 10.0%
~300万円	14 6.4%		3 7.9%		1 2.6%	4 16.7%	3 10.7%	3 10.0%
301~999万円	10 4.6%	1 4.2%	1 2.6%			3 12.5%	2 7.1%	3 10.0%
1000~2000万円	123 56.4%	12 50.0%	28 73.7%	23 63.9%	23 60.5%	6 25.0%	16 57.1%	15 50.0%
2001~5000万円	47 21.6%	7 29.2%	6 15.8%	11 30.6%	9 23.7%	5 20.8%	4 14.3%	5 16.7%
5000万円超	18 8.3%	3 12.5%		2 5.6%	3 7.9%	6 25.0%	3 10.7%	1 3.3%
合 計	218 100%	24 100%	38 100%	36 100%	38 100%	24 100%	28 100%	30 100%

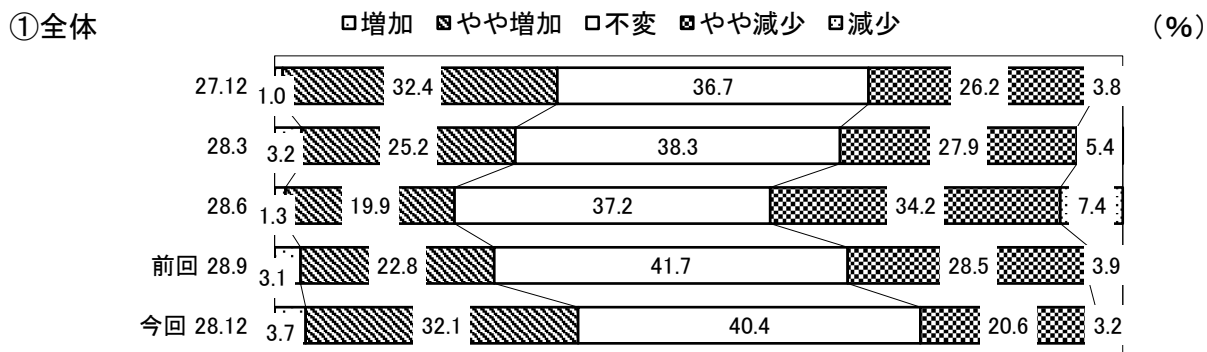
(3) 業種別・従業員別回答企業数

(単位：社)

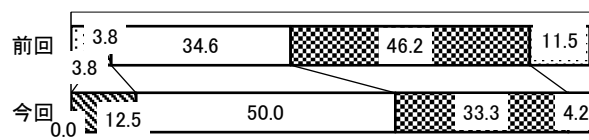
	全 体	鉄鋼・非鉄	金属製品	一般機器	電気機器	輸送用機器	精密機器	樹脂製品
1~5人	18 8.3%	8 33.3%		2 5.6%	2 5.3%	4 16.7%		2 6.7%
6~10人	27 12.4%	3 12.5%	2 5.3%	2 5.6%	3 7.9%	5 20.8%	6 21.4%	6 20.0%
11~20人	64 29.4%	4 16.7%	16 42.1%	14 38.9%	8 21.1%	3 12.5%	9 32.1%	10 33.3%
21~30人	32 14.7%	3 12.5%	11 28.9%	5 13.9%	5 13.2%	1 4.2%	3 10.7%	4 13.3%
31~50人	31 14.2%	4 16.7%	4 10.5%	5 13.9%	7 18.4%	4 16.7%	4 14.3%	3 10.0%
51人以上	46 21.1%	2 8.3%	5 13.2%	8 22.2%	13 34.2%	7 29.2%	6 21.4%	5 16.7%
合 計	218 100%	24 100%	38 100%	36 100%	38 100%	24 100%	28 100%	30 100%

3. 調査結果

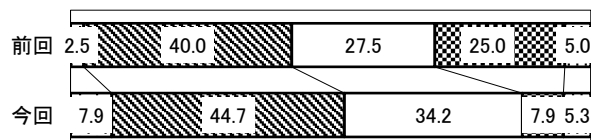
(1) 受注量について



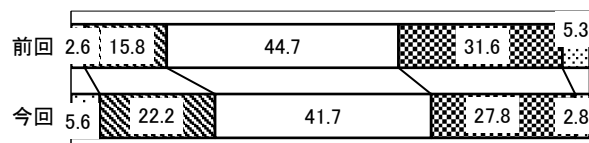
②鉄鋼・非鉄



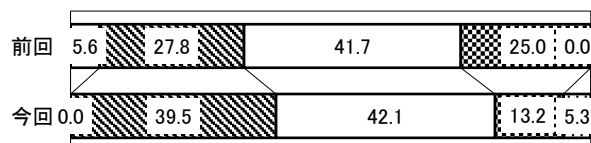
③金属製品



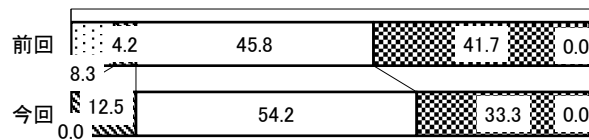
④一般機器



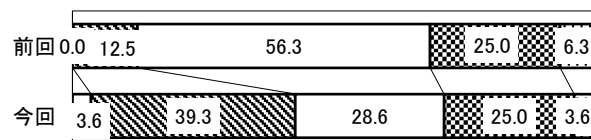
⑤電気機器



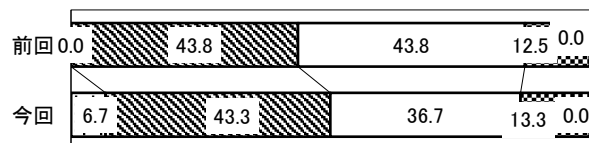
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・10月～12月期の受注量の業況判断D I（「増加」及び「やや増加」と回答した企業の割合から「減少」及び「やや減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は12.0となり、前期（7月～9月期）のD I値▲6.5と比べ18.5ポイント上昇、2期連続となり受注量は増加傾向である。

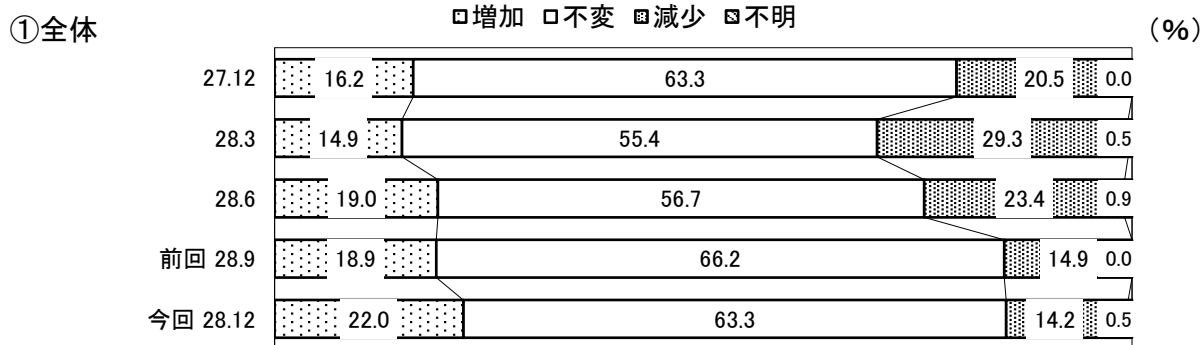
○業種別

・業種7分類中、D I値は、金属製品（39.4）、電気機器（21.0）、樹脂製品（36.7）で前回と同様プラス。今回は精密機器（14.3）でもプラスとなっている。

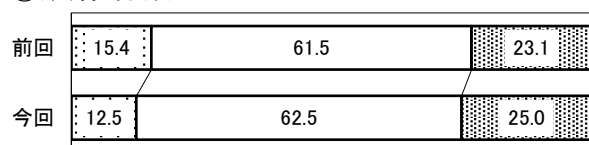
・D I値を前期と比較すると、マイナス値となった鉄鋼・非鉄、一般機器、輸送用機器でも前回より数値は上がっており、全業種で上昇の結果となった。

・特に、鉄鋼・非鉄で▲50.1から▲25.0と25.1ポイントの上昇、金属製品で前期12.5から39.4と26.9ポイント上昇、精密機器で▲18.8から14.3と33.1ポイント上昇と大きな変化が見られる。

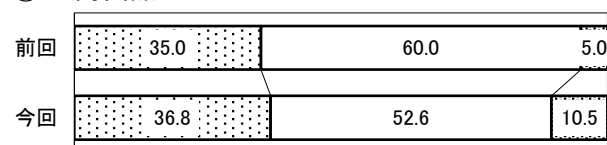
(2) 受注量の見通しについて (3ヶ月先について調査)



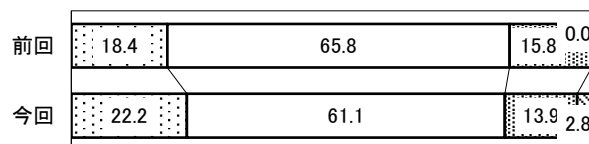
②鉄鋼・非鉄



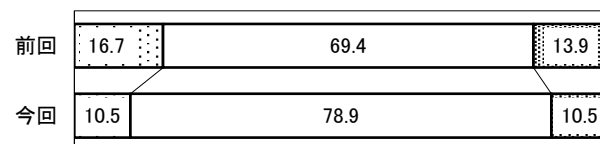
③金属製品



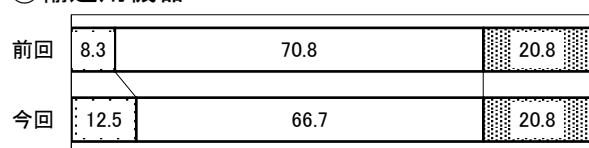
④一般機器



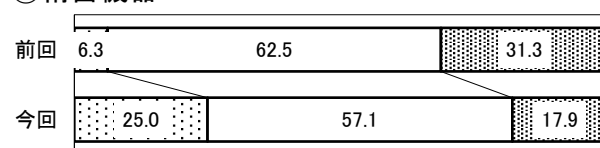
⑤電気機器



⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・次期 (4月～6月期) の受注量見通しの業況判断D I (「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を差し引いた数値) は7.8となり、前期調査時のD I 値4.0と比べ3.8ポイント上昇し、受注量の見通しは僅かながら増加とする回答の割合が増えている。

○業種別

・業種7分類中D I 値がプラスであったのは金属製品 (26.3)、一般機器 (8.3)、精密機器 (7.1)、樹脂製品 (23.3) の4業種で、鉄鋼・非鉄 (▲12.5)、輸送用機器 (▲8.3) の2業種はマイナス、電気機器は±0であった。

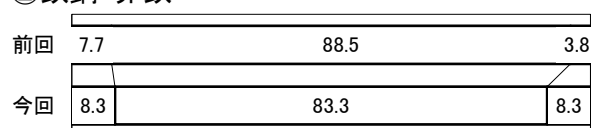
・D I 値を前期と比較すると、一般機器で2.6から8.3 (5.7)、輸送用機器で▲12.5から▲8.3 (4.2)、精密機器で▲25.0から7.1 (32.1) と3業種で上昇。

・一方、鉄鋼・非鉄で▲7.7から▲12.5 (▲4.8)、金属製品で30.0から26.3 (▲3.7)、電気機器2.8から0 (▲2.8)、樹脂製品25.0から23.3 (▲1.7) の4業種で低下しているが、精密機器の32.1ポイント上昇を除いては、「上昇」「低下」とも動きは小さい。

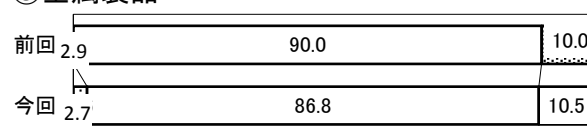
(3) 受注単価について



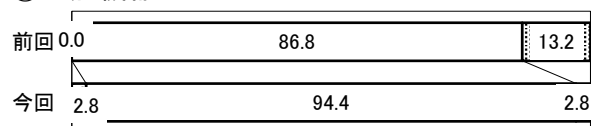
②鉄鋼・非鉄



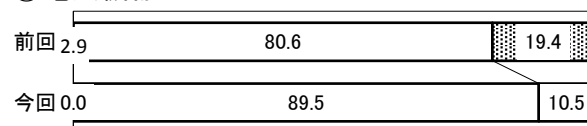
③金属製品



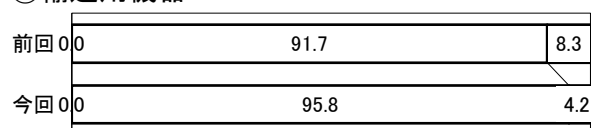
④一般機器



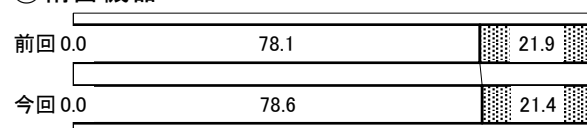
⑤電気機器



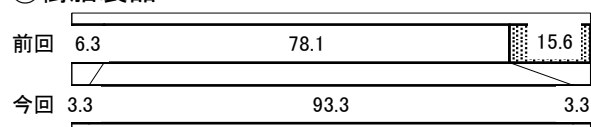
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



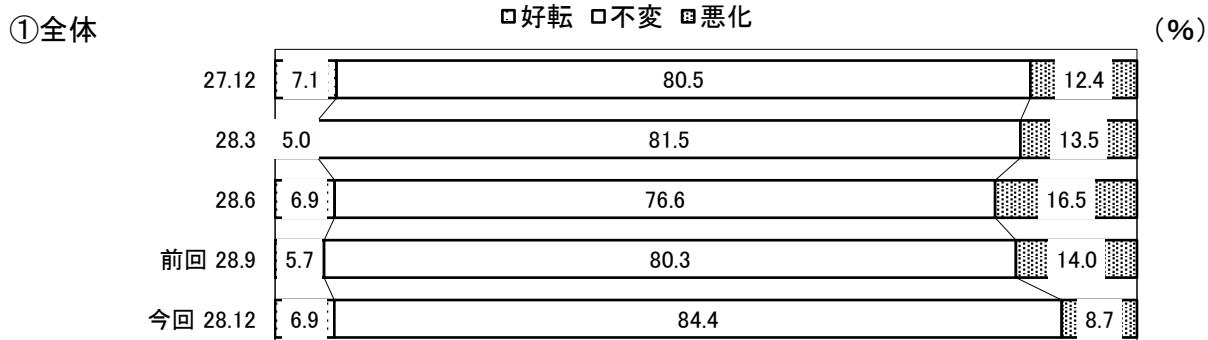
○全体

- ・10月～12月期の受注単価の業況判断D I（「上昇」と回答した企業の割合から「低下」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲6.4となり、前期（7月～9月期）のD I値▲11.4と比べて5.0ポイント増加と若干の改善が見られた。

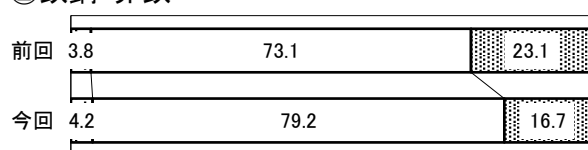
○業種別

- ・7業種中、D I値がプラスの業種はなく、金属製品（▲7.9）、電気機器（▲10.5）、輸送用機器（▲12.5）、精密機器（▲21.4）の4業種でマイナス、鉄鋼・非鉄、一般機器、樹脂製品はいずれも±0であった。
- ・D I値を前期と比較すると、前回唯一D Iがプラスであった鉄鋼・非鉄だが、今回は▲3.9と唯一前期比マイナスとなった。
- ・電気機器、輸送用機器、精密機器では、前回同様「上昇」の回答は0であった。

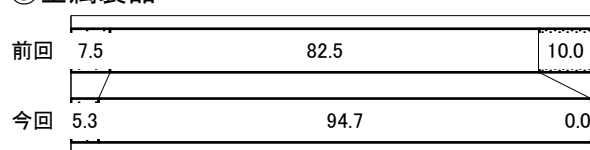
(4) 資金繰りについて



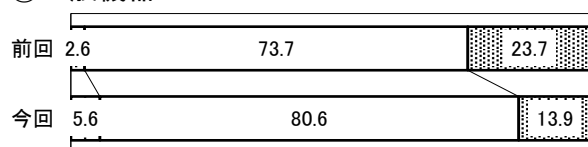
②鉄鋼・非鉄



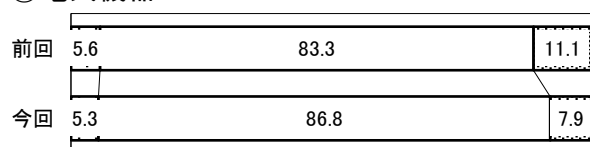
③金属製品



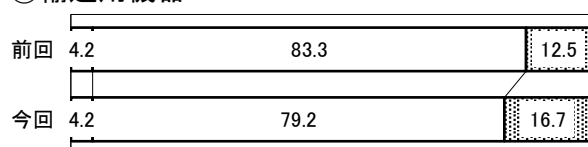
④一般機器



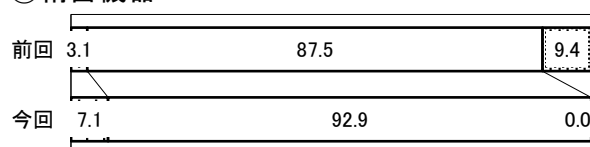
⑤電気機器



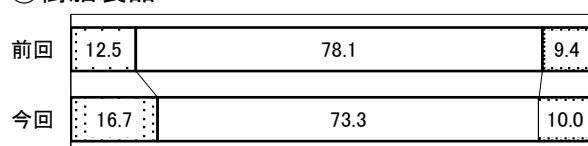
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

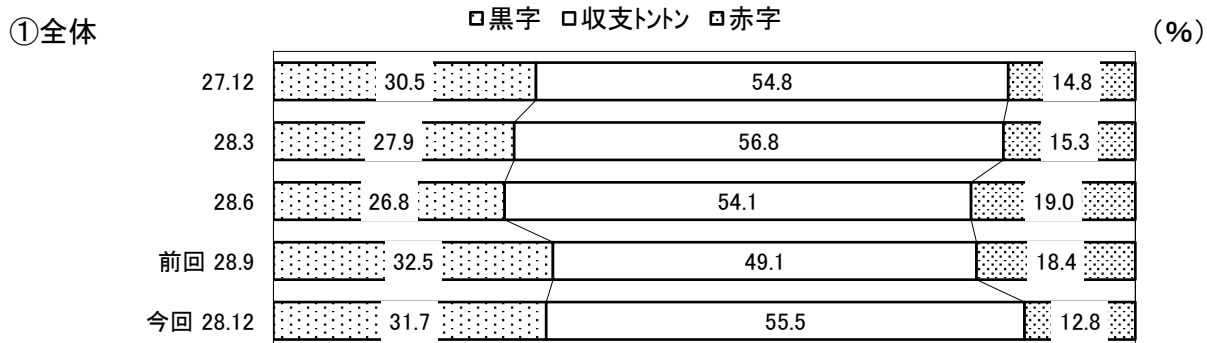
・10月～12月期の資金繰りの業況判断D1（「好転」と回答した企業の割合から「悪化」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は▲1.8となり、前期（7月～9月期）のD1▲8.3と比べて6.5ポイント上昇した。

○業種別

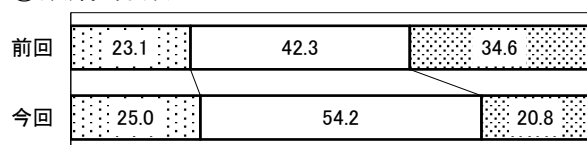
・業種7分類中D1値がプラスであったのは、金属製品（5.3）、精密機器（7.1）、樹脂製品（6.7）の3業種。鉄鋼・非鉄（▲12.5）、一般機器（▲8.3）、電気機器（▲2.6）、輸送用機器（▲12.5）の4業種でマイナスとなっている。

・D1値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄（6.8）、金属製品（7.8）、一般機器（12.8）、電気機器（2.9）、精密機器（13.4）、樹脂製品（3.6）の6業種で上昇しており、唯一、輸送用機器だけが▲4.2ポイントと僅かながら低下している。

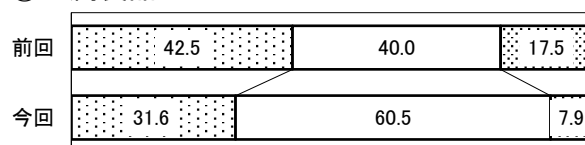
(5) 採算状況について



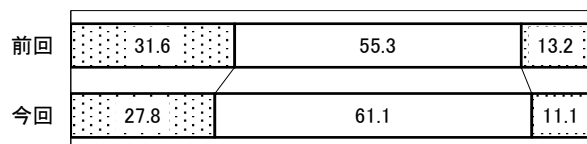
②鉄鋼・非鉄



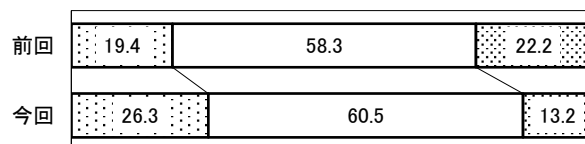
③金属製品



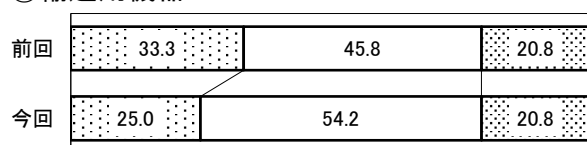
④一般機器



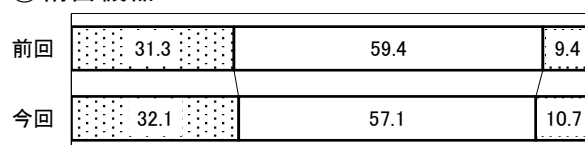
⑤電気機器



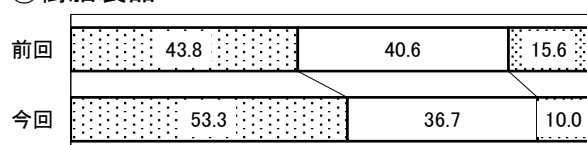
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

・10月～12月期の採算状況の業況判断D I（「黒字」と回答した企業の割合から「赤字」と回答した企業の割合を差し引いた数値）は18.9となり、前期（7月～9月期）のD I 14.1と比べ4.8ポイント上昇した。

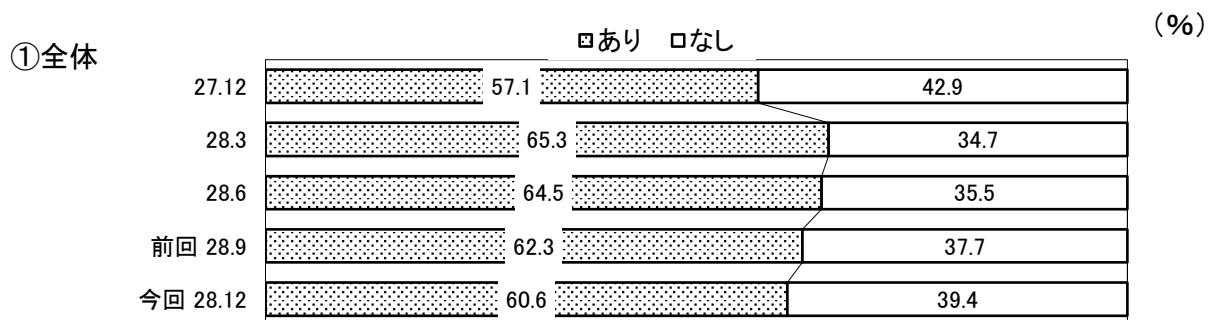
○業種別

・業種7分類のすべてでD I値はプラスとなっており、鉄鋼・非鉄（4.2）、金属製品（23.7）、一般機器（16.7）、電気機器（13.1）、輸送用機器（4.2）、精密機器（21.4）、樹脂製品（43.3）となった。

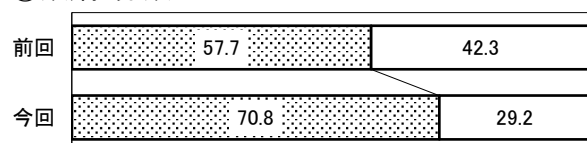
・D I値を前期と比較すると、鉄鋼・非鉄で▲11.5から4.2と15.7ポイントの改善が見られたが、輸送用機器とともに、依然として2割を超える企業が「赤字」としている。

・前回「黒字」の多かった樹脂製品だが、今回はさらに増え、半数を超える企業が「黒字」との回答であった。

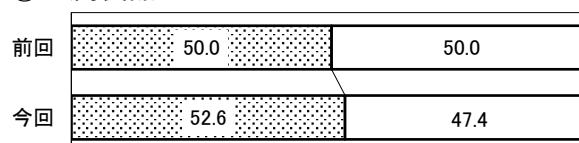
(6) 受注余力について



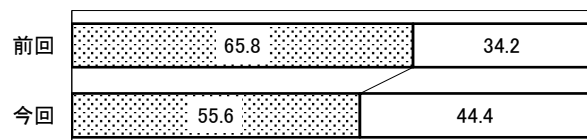
②鉄鋼・非鉄



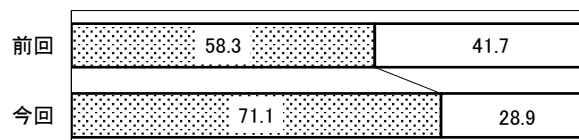
③金属製品



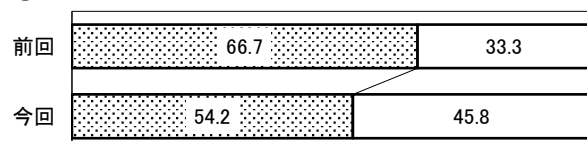
④一般機器



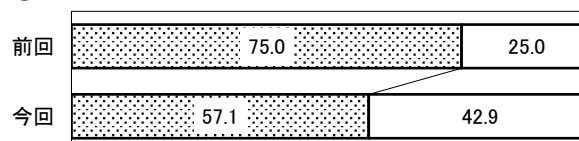
⑤電気機器



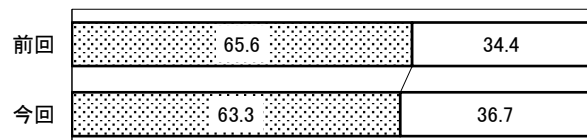
⑥輸送用機器



⑦精密機器



⑧樹脂製品



○全体

- ・10月～12月期は「受注余力なし」とする企業が39.4%と、前期と比較して1.7ポイントの増加となった。

○業種別

- ・全7業種で「受注余力あり」が「受注余力なし」を上回っている。
- ・金属製品が「受注余力なし」47.4%と、前々回、前回に続き全業種の中で最も余力割合が少ない。
- ・前期と比較すると、一般機器、輸送用機器、精密機器では、「受注余力なし」が10ポイント以上増えている。
- ・逆に、鉄鋼・非鉄と電気機器で「受注余力あり」が大きく増加しており、それぞれ70.8%、71.1%と7割を越している。
- ・金属製品、樹脂製品については、増減は少ない。



公益財団法人 **京都産業21**

〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町134
(京都府産業支援センター内)

TEL (075) 315-8590 FAX (075) 313-5211

E-mail: market@ki21.jp

U R L : http://www.ki21.jp